



平成29年11月13日

各位

会社名 株式会社東理ホールディングス
 (コード番号 5856 東証第2部)
 代表者名 代表取締役社長 福村 康廣
 問合せ先 常務取締役 田中 斉
 (TEL. 03-6458-6913)

平成30年3月期第2四半期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、平成29年5月15日に開示いたしました、平成30年3月期の第2四半期連結累計期間の業績予想と、本日公表いたしました実績値の差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想との差異について

(1) 第2四半期連結業績予想数値と実績値との差異 (金額の単位: 百万円)

平成30年3月期第2四半期累計期間業績予想数値との差異 (平成29年4月1日～平成29年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	8,049	149	152	125	1円44銭
今回実績 (B)	7,640	8	0	△9	△0円11銭
増減額 (B-A)	△409	△141	△152	△135	—
増減率 (%)	△5.1	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成29年3月期第2四半期)	8,869	△52	△34	△419	△4円81銭

(参考)

(2) 第2四半期個別業績予想数値と実績値との差異 (金額の単位: 百万円)

平成30年3月期第2四半期累計期間業績予想数値との差異 (平成29年4月1日～平成29年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期 純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	340	127	129	117	1円34銭
今回実績 (B)	332	130	132	119	1円37銭
増減額 (B-A)	△7	2	2	2	—
増減率 (%)	△2.3	2.1	1.8	2.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成29年3月期第2四半期)	426	201	219	53	0円61銭

2. 業績予想と実績値との差異の理由

(1) 連結業績について

売上高、営業利益共に前回の業績予想を下回り、その影響で経常利益及び四半期純利益も業績予想を下回りました。

その主な理由といたしましては、食品流通事業におきましては、同業他社との競合が局地的にあったこと等により売上高が119百万円予想を下回ったものの、一般管理費等を抑制したこと等による効果で営業利益は予想の範囲内となりました。

酒類製造事業におきましては、国内需要の変化や天候不順による影響があったこと等により売上高が16百万円予想を下回り、運送費用の増加等により営業利益は28百万円予想を下回る結果となりました。

教育関連事業におきましては、学校、学習塾向けテスト関連商品の認知不足によって受注が伸び悩み、売上高が74百万円予想を下回り、模試実施時における会場運営費用の増加等の原因により営業利益も81百万円予想を下回る結果となりました。

リフォーム関連事業におきましては、大型工事及び中小口案件共に受注が伸びず、売上高199百万円、営業利益17百万円それぞれ予想を下回る結果となりました。

その他の事業におきましては、本社移転に伴う全社費用の増加等の原因により、営業利益が14百万円予想を下回る結果となりました。

(2) 個別業績について

売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益ともに業績予想の範囲内であります。

以上